

令和2年度事業報告

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあり、国の補正予算の効果も相まって持ち直しの動きはみられるものの、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばと言わざるを得ません。

また、畜産物の販売も、新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要や外食需要の減退により、和牛を中心に大幅に低下した牛肉価格は、秋以降、経済活動の再開に伴って回復基調にありますが、畜産農家にとっては、依然として不安定な環境が継続しております。

こうした中、令和2年度は、協会事業を3つの公益目的事業（継続事業）と3つのその他事業に区分し、畜産農家の経営安定を図るため各事業の積極的な展開を図るとともに、畜産経営に関する窓口組織として、関係団体・機関と連携し、畜産生産振興や経営安定対策などに積極的に取り組み、畜産経営の安定や生産基盤の拡大に努めました。

また、公益目的事業の一つである各種補給金の交付事業では、肉用子牛価格は一時、急落したものの、本県では保証基準価格以上でとどまり、肉用子牛生産者補給金制度の補給金交付は発生しませんでした。

一方、肉用牛肥育経営安定交付金制度では、枝肉価格が急落し価格差補てんの発動があり、4月からは特例措置である生産者負担金の納付猶予を行い、納付猶予の対象牛を販売した際は、交付金単価の3/4である農畜産業振興機構からの交付金分のみを交付することとなり、交付金の総額は、約842百万円と対前年比10倍の交付状況でした。

このような情勢のもと、畜産農家は、生産費の抑制対策に苦慮し、厳しい経営状況が続いているため、経営計画の策定や経営分析に加えて、経営移譲や法人移行などに対する支援・指導が増加しております。

I. 会員に関する事項

（令和3年4月1日現在）

正会員：47会員（地域団体16、JA10、市町14、法人7）

賛助会員：2会員

※ 令和3年6月11日 地域団体の（一社）広島県乳業協会が入会

Ⅱ. 組織運営に関する事項

1. 総会

(1) 第8回定時総会（書面決議）

開催日： 令和2年6月18日（木）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

同意会員数： 全正会員（48会員）

[議案]

第1号議案 令和元年度事業報告及び財務諸表等について

第2号議案 令和2年度会費の額及び徴収方法について

第3号議案 令和2年度借入金最高限度額について

第4号議案 役員の補欠選任について

付帯決議案

[報告事項]

○令和2年度事業計画及び正味財産増減予算書について

○令和元年度公益目的支出計画実施報告書等について

(2) 第1回臨時総会（書面決議）

開催日： 令和2年8月5日（水）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

出席会員数： 書面表決会員 48会員

[議案]

第1号議案 理事の補欠選任（案）の承認について

第2号議案 理事の補欠選任（案）の承認について

(3) 第2回臨時総会

開催日： 令和2年9月7日（月）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

出席会員数： 出席 42会員（うち委任状出席23会員）
欠席 6会員

[議案]

第1号議案 一般社団法人広島県家畜畜産物衛生指導協会との吸収
合併契約書の承認について

第2号議案 定款の一部変更（案）の承認について

第3号議案 理事の辞任に伴う補欠選任の承認について

付帯決議案

[報告事項]

○令和2年度当初予算（正味財産増減計算書）の修正について

○令和3年度事業計画及び暫定予算（正味財産増減計算書）について

○公益目的支出計画の変更認可申請について

2. 理事会

(1) 第1回理事会（書面決議）

開催日： 令和2年6月8日（月）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

[議案]

- 第1号議案 第8回定時総会の開催について
 - 第2号議案 第8回定時総会提出議案について
 - 第3号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告書について
- 付帯決議案

[報告事項]

- 職務執行状況報告について

(2) 第2回理事会（書面決議）

開催日： 令和2年6月19日（金）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

[議案]

- 第1号議案 専務理事の選定について

(3) 第3回理事会（書面決議）

開催日： 令和2年7月21日（火）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

[議案]

- 第1号議案 令和2年度第1回臨時総会の開催について

- 第2号議案 理事の辞任に伴う補欠選任の承認について

- 第3号議案 理事の辞任に伴う補欠選任の承認について

(4) 第4回理事会

開催日： 令和2年8月24日（月）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

[議案]

- 第1号議案 一般社団法人広島県家畜畜産物衛生指導協会との吸収合併契約書（案）の承認について

- 第2号議案 令和3年度事業計画及び暫定予算（正味財産増減計算書）（案）の承認について

- 第3号議案 公益目的支出計画の変更認可申請（案）の承認について

- 第4号議案 令和2年度第2回臨時総会の開催について

- 第5号議案 令和2年度第2回臨時総会提出議案書（案）の承認について

- 第6号議案 広島県監査実施による指摘事項のうち預り金の会計処理方法について

付帯決議案

[報告事項]

- 令和2年度当初予算（正味財産増減計算書）の修正について

(5) 第5回理事会

開催日： 令和3年3月23日（火）

開催場所： 広島市中区大手町4丁目7番3号JAビル

[議案]

- 第1号議案 令和2年度予算の補正（案）の承認について

- 第2号議案 令和3年度事業計画及び正味財産増減予算（案）の承認について
- 第3号議案 一般社団法人広島県家畜畜産物衛生指導協会との合併に伴う諸規程の一部改正（案）の承認について
- 第4号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の期中返還について
- 第5号議案 令和3年度広島牛生産振興対策（案）の承認について
付帯決議案

[報告事項]

- 公益目的支出計画の変更認可について
- 一般社団法人広島県家畜畜産物衛生指導協会との合併に係る官報公告について
- 職務執行状況報告について

3. 監査会

開催日： 令和2年5月18日（月）及び20日（水）

[監査事項]

- 令和元年度事業及び会計処理状況の監査
- 令和元年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査

III. 事業に関する事項

[経営指導部]

畜産経営者の経営の安定化と担い手確保・指導者の育成を図るため、各種補助事業・受託事業を積極的に活用して指導・支援を行いました。

また、現地での生産技術、経理処理に関しての個別的な支援を行うとともに、畜産農家の経営安定、耕畜連携の推進に向けた取り組みを行いました。

さらに、本会独自の事業展開を図る一方で、畜産の知識・情報の提供に努めて畜産への理解を深めていただくため普及活動を行いました。

[基金事業部]

畜産物価格安定対策（肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度）及び肉用牛振興補助事業を適正に実施しました。

肉用子牛価格は一時、急落したものの、本県では保証基準価格以上でとどまり、肉用子牛生産者補給金制度の補給金交付は発生しませんでした。肉用牛肥育経営安定交付金制度では、枝肉価格が急落し価格差補てんの発動があり、4月からは特例措置である生産者負担金の納付猶予を行い、納付猶予の対象牛を販売した際は、交付金単価の3/4である農畜産業振興機構からの交付金分のみを交付することとなり、関係機関及び団体の協力を得て円滑に交付事務を行いました。

また、国の新型コロナ対策である肥育牛経営等緊急支援特別対策事業に積極的に取り組み、経営体質の強化の取組を行う肉用牛経営者等に対して、肥育牛等の販売実績に応じて奨励金を交付しました。

【公益目的事業】

継続事業 1 畜産経営安定のための各種補給金等の交付に関する事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度 (農畜産業振興機構)

子牛の販売価格が保証基準価格を下回った場合、四半期毎に補給金を交付しますが、補給金の交付はありませんでした。

①契約生産者数 453 人

②契約個体登録数 5,066 頭 (R2. 1～R2. 12) 【別表 1】

(黒毛和種 : 3,068 頭 乳用種 : 248 頭 交雑種 : 1,750 頭)

③保証基準価格と合理化目標価格 (R 2 年) (単位 : 円/頭)

品 種 区 分	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	541,000	429,000
乳用種	164,000	110,000
交雑種	274,000	216,000

④生産者積立金造成内訳【別表 2】 (単位 : 頭、円)

品 種 区 分	登録 頭数	積立金 単 価	積 立 額	負 担 区 分		
				機構 1/2	広島県 1/4	生産者 1/4
黒毛和種	845	1,200※1	1,014,000	507,000	253,500	253,500
	2,223	1,600※2	3,556,800	1,778,400	889,200	889,200
乳用種	82	6,400※1	524,800	262,400	131,200	131,200
	166	6,800※2	1,128,800	564,400	282,200	282,200
交 雑 種	458	2,400※1	1,099,200	549,600	274,800	274,800
	1,292	3,200※2	4,134,400	2,067,200	1,033,600	1,033,600
合 計	5,066	—	11,458,000	5,729,000	2,864,500	2,864,500

※1 : 第 4 四半期、※2 : 第 1 ～ 第 3 四半期

⑤肉用子牛平均売買価格 (単位 : 円/頭)

区 分	平 均 売 買 価 格			広島県の黒毛和種 子牛取引価格 (三次)
	黒毛和種	乳用種	交雑種	
第 4 四半期	718,900	249,100	425,400	705,641
第 1 四半期	620,700	238,200	340,500	597,688
第 2 四半期	654,800	241,000	332,000	675,231
第 3 四半期	740,100	256,400	369,700	772,591

⑥肉用子牛補給金交付単価 (単位 : 円/頭)

区 分	補 給 金 交 付 単 価			備 考
	黒毛和種	乳用種	交雑種	
第 4 四半期	0	0	0	
第 1 四半期	0	0	0	
第 2 四半期	0	0	0	
第 3 四半期	0	0	0	

⑦肉用子牛補給金交付実績

(単位：頭、円)

区 分	黒毛和種		乳用種		交雑種		備考
	頭数	交付額	頭数	交付額	頭数	交付額	
第4四半期	0	0	0	0	0	0	
第1四半期	0	0	0	0	0	0	
第2四半期	0	0	0	0	0	0	
第3四半期	0	0	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	0	0	

2. 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 (農畜産業振興機構)

肉用子牛生産者補給金制度を実施するために、加入の促進、積立金の徴収及び交付の事務を行いました。

事業費 5,819,994 円

3. 肉用子牛生産者補給金管理推進事業 (自主事業)

特別の積立金の一部を取り崩し、肉用子牛補給金制度の適正かつ効率的な運営管理を行いました。

事業費 1,002,315 円

4. 指定協会運営体制支援事業 (農畜産業振興機構)

肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施を行うための指定協会の体制支援のための事業で、委託先からの各種書類の受理と機構への申請及び生産者への交付手続を行いました。

事業費 8,768,625 円

5. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)

肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、その差額の90%を交付金として月毎に交付する制度ですが、4月から負担金納付猶予措置を行い、この猶予対象牛が販売された場合には機構分の3/4のみの交付としました。肉専用種は5月から積立金が払底したため、猶予対象牛以外も機構分の3/4のみを交付しました。このため、令和2年度に納付された負担金は令和2年2月から3月に販売された早出し牛分のみとなりました。

①契約生産者数 58 戸

②負担金納付頭数 28 頭 (R2.4~R3.3) 【別表3】

(肉専用種：5頭 交雑種：22頭 乳用種：1頭)

③生産者負担金造成内訳 (単位：頭、円)

期 間	品 種	納付頭数	負 担 金 単 価	積 立 額
R2.4月 ～	肉専用種	5	12,000	60,000
	交雑種	22	17,000	374,000
R3.3月	乳用種	1	19,000	19,000
合 計		28	—	453,000

④肥育牛交付金交付実績 R2.1～R3.1【別表4】 (単位：人、頭、円/頭)

	品種区分	交付対象		肥育牛交付金額	
		延人数	頭数	平均単価	交付額
合 計	肉専用種	313	2,615	120,453	314,984,603
	交雑種	167	5,395	93,247	503,066,655
	乳用種	57	677	35,898	24,303,088
	計	537	8,687	96,967	842,354,346

6. 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業 (農畜産業振興機構)
 牛マルキンが法制化された以降の生産者への業務指導、生産者積立金の管理、生産者別交付額の算出、加入率向上のための資料作成・配布、加入者管理システムの入力作業等を実施しました。
 事業費 7,168,566円

7. 肉豚経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)
 肉豚経営の安定のため農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定対策事業の円滑な事業推進を図るため事業内容の周知等、事業の啓発を図りました。
 事業費 115,358円

継続事業2 畜産経営者及び関係組織への指導・支援に関する事業

1. 肉用牛経営安定対策補完事業 (農畜産業振興機構)
 生産者集団等が肉用牛繁殖基盤の強化安定を図るため、優良繁殖雌牛の増頭や簡易牛舎の整備に取り組む事業に要する経費に対し助成を行いました。
 事業費 14,993,053円
- ・中核的担い手育成増頭推進 3,920,000円
 - ・繁殖雌牛増頭に資する簡易牛舎の整備 10,132,490円
 - ・肉用牛振興推進指導 940,563円

2. 畜産特別資金等推進指導事業 (中央畜産会)
 広島県畜産特別資金借受者指導協議会の指導方針に基づき、畜産特別資金等の新規借入希望者の経営内容の調査と改善上の必要な事項に関して支援・指導を実施する一方で、経営改善のために必要な情報の提供を行いました。
 事業費 871,965円
- ・支援協議会の開催 : 1回
 - ・経営改善支援セミナー開催 : 2回
 - ・畜特資金借受者等指導 : 2件
 - ・経営改善指導資料の作成配布 : 100部

3. 畜産近代化リース貸付指導事業 (畜産近代化リース協会)
 (公財)畜産近代化リース協会が貸付する機械の適正な管理と効率的な活用を図るため、貸付機械の確認や管理状況の調査を行い、適正な利用について指導を行いました。
 事業費 188,291円
- ・調査対象件数 : 12農家、21基

4. 課題解決サポート事業 (中央畜産会)
日本政策金融公庫資金借入農家において、借入後の経営サポート、公庫資金融資希望農家に対し経営改善計画作成等の支援を行いました。

事業費 2,530,344円

- ・経営課題の抽出・分析 : 3件
- ・経営改善支援、診断 : 7件

5. 畜産関係団体調整機能強化事業 (中央畜産会)
地域の畜産関係団体の活性化及び連携の強化を図ることにより、畜産振興に資するため、生産者を中心とする仲間づくりとその組織等の活性化のための諸活動を実施し、また、生産者等からの相談窓口の設置にあたり、職員のスキルアップの研修会等に参加しました。

事業費 1,280,000円

- ・仲間づくり支援 : 1回
- ・スキルアップ等研修会への参加 : 5回
- ・相談窓口設置等 : 1回
- ・経営相談訪問活動 : 25回、延べ29人

6. 畜産振興推進事業 (自主事業)
生産者や関係機関等の要請により会議や研修会等への出席、経営診断分析や関係機関の畜産担当初任者を対象とした研修会の開催、地域での研修会等への職員派遣や講師の紹介等を行いました。

事業費 472,617円

- ・畜産担当初任者研修会 : 1回
- ・諸会議への出席 : 15回、延べ17人

継続事業4 広島ブランドの維持と生産拡大に関する事業

1. 畜産振興総合対策事業 (広島県)
広島県が定めた畜産振興諸対策に基づき、新たに広島ブランドを維持拡大しようとする畜産経営体に対してコンサルテーションを実施し、経営の高度化を図りました。

事業費 83,858円

- ・畜産振興総合対策事業 : 2経営体

2. 広島牛生産振興特別対策事業 (自主事業)
広島牛生産振興特別対策として、広島牛ブランドの生産振興を行うため優秀基礎牛確保対策、広島牛血統再構築対策等を実施しました。

事業費 2,275,000円

- ・育種牛認定助成事業 : 1,050,000円
- ・高MUF A産子保留促進事業 : 225,000円
- ・全国和牛能力共進会対策事業 : 1,000,000円

3. 種豚の登録・確保推進事業 (自主事業)
種豚の安定的な確保のために、家畜疾病の防疫対策、衛生対策などの向上を図ることを目的に、家畜及び農場での清浄度維持に要する経費等への助成を実施しました。

事業費 200,000 円

・事業対象経営体 : 2 経営体

【その他事業】

その他事業1 畜産経営指導に関する補完事業

1. 地域畜産支援指導等体制強化事業 (地方競馬全国協会)
畜産経営の支援体制強化、地域畜産の活性化、安全で安定的な食の提供、馬事普及啓発の推進体制の強化を図るため、畜産関係機関及び関係団体と連携を取りながら支援業務等を実施し、地域畜産の指導等体制の強化を図りました。

事業費 10,125,551円

その他事業2 畜産経営安定のための経営技術及び事務手続き支援

1. マルキン負担金事業 (自主事業)
肉用牛肥育経営安定交付金制度の契約生産者より事務手数料を徴収し、事業の適正かつ効率的な運営管理を行いました。

事業費 7,570,829円

2. 肉豚経営安定交付金制度負担金事業 (自主事業)
肉豚経営安定交付金制度の加入生産者より事務手数料を徴収し、事業の適正かつ効率的な運営管理を行いました。

事業費 236,348 円

3. 肉用子牛負担金事業 (自主事業)
肉用子牛生産者補給金交付事業の契約生産者より事務手数料を徴収し、事業の適正かつ効率的な運営管理を行いました。

事業費 2,579,104 円

その他事業3 畜産経営の指導・支援及び畜産振興事業

1. 畜産経営クリニック診断事業 (自主事業)
本県畜産の活性化を図り、地域畜産振興を図るため、専門家による総合的な経営コンサルテーション、堆肥センターの運営管理、簿記講座の開催、粗飼料・堆肥・土壌等の成分分析、調査・分析、畜産情報の発信を行いました。

事業費 855,798円

- ・三原市酪農振興会畜産簿記研修 : 1 1 回
- ・農業経営者サポート : 6 経営体、延べ1 5 回
- ・経営診断支援 : 2 経営体
- ・飼料成分分析 : 3 検体

- ・堆肥成分分析 : 35 検体
- ・新規法人化支援 : 4 件

2. 畜産関係図書等の斡旋活動

畜産の生産と消費に関する啓発・普及のため、畜産振興情報（生産技術や経営指標などの情報）を関係者に頒布し、また、中央畜産会発行の月刊誌「畜産コンサルタント」他、指導の参考となる図書の購読斡旋を行いました。

3. 畜産クラスター全国推進事業 (中央畜産会)

(1) 全国実態調査事業

畜産クラスターの取組を推進するために必要な情報として、先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめを実施しました。

事業費 803,149 円

- ・調査対象経営体 : 10 戸 (酪農)

(2) 改善効果事業

畜産クラスター事業を導入した畜産経営体を対象に、事業導入前後の経営内容に係る調査を実施し、事業効果を検証するための経営データ収集の現地調査を実施しました。

事業費 155,584 円

- ・調査対象経営体 : 1 戸 (酪農)

4. 畜産クラスター機械導入事業 (中央畜産会)

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、事業実施主体の中央畜産会が行う業務の一部を県窓口団体として受託し、事業参加要望書の取りまとめなどの推進業務を実施しました。

事業費 2,059,210 円

- ・事業説明会の開催 : 2 回
- ・事業参加要望の取りまとめ
令和2年度事業参加要望 : 6 協議会、17 取組主体
- ・事業参加申請の取りまとめ
令和元年度事業参加申請 : 3 協議会、6 取組主体
令和2年度事業参加申請 : 5 協議会、13 取組主体
- ・事業取組調査 : 2 協議会、2 取組主体
- ・事業進捗状況等確認 : 5 協議会

5. 家畜生産性向上対策事業 (中央畜産会)

家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための家畜生産性に係るデータ収集と、生産性向上のためのデータ分析、技術指導等の取組みを実施しました。

事業費 1,334,217 円

- ・調査指導対象経営体 : 15 戸 (肉用牛繁殖・肥育・一貫)

6. 畜産経営体生産性向上対策事業 (ICT 化等機械装置導入事業) (中央畜産会)

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・省力化の先端技術を導入する事業で、その円滑な推進を図るために必要となる普及推進活動、事業推進指導、内容確認業

務等を実施しました。

		事業費	429,292 円
・個別事業説明の実施	:	1 応援会議、1 回	
・事業導入状況等確認	:	1 応援会議、5 経営体	

7. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（**楽酪GO**事業）（中央畜産会）
事業の円滑な実施を図るため、事業実施主体の中央畜産会が行う業務の一部を
県受託団体として、事業の推進業務を実施しました。

		事業費	395,488 円
・個別事業説明の実施	:	1 応援会議、1 回	
・事業導入状況等確認	:	1 応援会議、1 経営体	

8. 畜産女性経営者育成強化事業（中央畜産会）
地域における畜産女性経営者の育成を図るために、畜産経営の新たな担い手と
なる畜産女性を対象に経営者育成研修会や経営者間の連携強化等の取り組みを
支援し、県域畜産女性組織「ひろしま畜産女性の会」を設立しました。

		事業費	1,033,895 円
・検討委員会の開催	:	2 回	
・研修会等の開催	:	2 回	
・研修会、交流会への参加	:	3 回（リモート研修）	

9. ASF 侵入防止緊急支援事業（農畜産業振興機構）
ASF の侵入防止のためのバイオセキュリティの向上を図るため、養豚農場に
おける野生動物侵入防護柵の整備に必要な費用を助成し、事業を円滑に実施する
ための推進指導等を実施しました。

		事業費	28,511,649 円
・事業参加経営体（繰越分）	:	2 経営体（6 農場）	
・事業検収等確認（繰越分）	:	延べ19 回	

10. 生産基盤拡大加速化事業（全国肉用牛振興基金協会）
繁殖雌牛の増頭を推進する事業について、その円滑な実施を図るため、事業実
施主体の全国肉用牛振興基金協会が行う業務の一部を県受託団体として、事業の
推進業務、事業参加申請書等の取りまとめ業務などの推進業務を実施しました。

		事業費	999,322 円
・事業説明会の開催	:	1 回	
・事業参加経営体	:	39 経営体	

11. 養豚農場バイオセキュリティ向上対策事業（広島県）
ASF 等の養豚農場への侵入を防止する体制を確保するため、防鳥ネット等の
野生動物侵入防止資材の整備及び伝染性疾病のまん延防止対策強化に必要な資
材の整備を支援しました。

		事業費	8,075,029 円
・事業説明会の開催	:	1 回	
・事業参加経営体	:	10 経営体	

・整備内容	： 防鳥ネット	9 経営体、11 農場
	動力噴霧器	2 台（2 経営体、2 農場）
	電気防護柵	3 台（2 経営体、2 農場）
	立入禁止看板	13 枚（3 経営体、6 農場）

12. 和牛の担い手高度化支援強化事業 (岡山県畜産協会)

和牛繁殖農家への就農を進めるため、新規参入希望者を対象に就農後のスキルアップのための研修を行い、就農促進と地域リーダーを幾瀬宇するため、岡山県畜産協会が行う事業の一部を受託して業務を実施しました。

事業費 102,852 円

- ・後継者交流会 : 1回
- ・繁殖経営事例集作成 : 1回

13. 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 (農畜産業振興機構)

新型コロナウイルス感染症の影響により、肉用子牛の全国平均価格が発動基準を下回った場合に、経営改善に資する取組を行う肉用子牛生産者に対し、販売頭数に応じて奨励金を交付する事業で、委託先からの各種書類の受理と機構への申請等の手続を行いました。

事業費 1,372,502 円

14. 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 (中央畜産会)

新型コロナウイルス感染症の拡大する中、所得や営業利益を3%改善することを目的に経営体質の強化のための取組を行う肉用牛経営者等に対して、肥育牛等の販売実績に応じて奨励金を交付するとともに、委託先からの各種書類の受理と中央畜産会への申請等の手続を行いました。

事業費 146,248,954 円

IV. 畜産関係の諸活動

1. 畜政活動

畜産施策及び畜産振興方策について、中央畜産会、中国四国ブロック畜産協会等の関係機関と連携して畜政活動を行いました。

2. 事務局

次の組織の事務局を担当し、畜産振興と関係者との連携を図りました。

- ① 広島県馬事畜産振興協議会
- ② 広島県養豚協会
- ③ 広島県堆肥センター協議会

【別表1】肉用子牛生産者補給金交付事業事務委託先別個体登録頭数(1月～12月)

(単位：頭)

区 分	黒毛和種		乳用種		交雑種		計	
	2年	元年	2年	元年	2年	元年	2年	元年
広島市農業協同組合	282	278					282	278
広島中央農業協同組合	101	108					101	108
三原農業協同組合	143	120					143	120
尾道市農業協同組合	53	64	7	16	231	231	291	311
福山市農業協同組合	586	568					586	568
三次農業協同組合	406	407	3	5			409	412
広島北部農業協同組合	395	388					395	388
庄原農業協同組合	989	1,009					989	1,009
広島県酪農業協同組合			4	5			4	5
広島県配合飼料基金協会	113	94	234	228	1,519	1,216	1,866	1,538
合 計	3,068	3,036	248	254	1,750	1,447	5,066	4,737

【別表3】事務委託先別生産者積立頭数(4月～3月)

(単位：頭)

区 分	肉専用種		交雑種		乳用種		計	
	2年	元年	2年	元年	2年	元年	2年	元年
広島市農業協同組合	0	238	0	81	0	0	0	319
広島中央農業協同組合	0	1	12	688	0	0	12	689
安芸農業協同組合	0	48	0	0	0	0	0	48
三原農業協同組合	0	194	0	63	0	0	0	257
尾道市農業協同組合	0	58	0	0	0	0	0	58
福山市農業協同組合	0	58	0	0	0	0	0	58
三次農業協同組合	0	69	0	0	0	0	0	69
広島北部農業協同組合	0	43	0	0	0	0	0	43
庄原農業協同組合	0	303	0	0	0	0	0	303
全農広島県本部	2	822	0	0	0	0	2	822
広島県酪農業協同組合	0	0	0	0	0	8	0	8
広島県配合飼料基金協会	3	1,794	10	4,910	1	772	14	7,476
合 計	5	3,628	22	5,742	1	780	28	10,150

【別表2】生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位:円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	乳用種	交雑種	合計	
1 期 首 残 高		(1) 生産者積立金	0	0	0	0	
		(2) 生産者積立準備金				294,715,375	
	内	(3) 生産者の負担金充当分				161,001,246	
		(4) 県の生産者積立助成金充当分				96,033,952	
	訳	(5) 機構の生産者積立助成金充当分				37,680,177	
2 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績		(6) 生産者積立金純増加額(9) + (12) + (15)	2,339,500	826,800	3,011,400	6,177,700	
		(7) 生産者積立準備金からの増加額(10) + (13) + (16)	2,231,300	826,800	2,222,200	5,280,300	
		(8) 計	4,570,800	1,653,600	5,233,600	11,458,000	
	内	生	(9) 負担金	54,100	0	394,600	448,700
		産	(10) 生産者積立準備金(3)からの繰入額	1,088,600	413,400	913,800	2,415,800
		者	(11) 小計	1,142,700	413,400	1,308,400	2,864,500
	広 島 県	島	(12) 生産者積立助成金	0	0	0	0
		県	(13) 生産者積立準備金(4)からの繰入額	1,142,700	413,400	1,308,400	2,864,500
		県	(14) 小計	1,142,700	413,400	1,308,400	2,864,500
	機 構	機	(15) 生産者積立助成金	2,285,400	826,800	2,616,800	5,729,000
		構	(16) 生産者積立準備金(5)からの繰入額	0	0	0	0
		構	(17) 小計	2,285,400	826,800	2,616,800	5,729,000
	3 他 の 資 金 か ら の 繰 入 状 況		(19) 特別積立金から生産者積立金への繰入額				0
		(20) 調整積立金から生産者積立金への繰入額				0	
		(21) 生産者補給金に充てるため全国協会から借入金				0	
		(22) 生産者積立金に係る運用果実	29	12	36	77	
		(23) 償還円滑化積立金からの繰入額				0	
		(24) 生産者補給金交付額(21)を含む				0	
		(25) 生産者積立金から借入金返済額				0	
		(26) 他の資金から繰入による借入金返済額				0	
		(27) 生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額				0	
		(28) 生産者積立準備金に係る運用果実				180,969	
		(29) 生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額				0	
		(30) 生産者積立準備金からの返還額(生産者分)				48,899,069	
	(31) 生産者積立準備金からの返還額(県分)				0		
	(32) 生産者積立準備金からの返還額(機構分)				37,681,072		
4 期 末 残 高		(33) 生産者積立金(1) + (8) + (19) + (20) + (21) + (22) + (23) - (24) - (25) - (26) - (27)	4,570,829	1,653,612	5,233,636	11,458,077	
		(34) 生産者積立準備金(2) - (7) + (27) + (28) - (29) - (30) - (31) - (32)				203,035,903	
	内	(35) 生産者の積立金充当分				109,863,232	
		(36) 県の生産者積立助成金充当分				93,172,671	
	訳	(37) 機構の生産者積立助成金充当分					

【別表4】 肉用牛肥育経営安定交付金制度 月別交付金交付実績

(単位:円/頭、円)

月別	品種区分	交付対象		交付金額			月別	品種区分	交付対象		交付金額		
		人数	頭数	単価	交付額(3/4)	交付額(1/4)			人数	頭数	単価	交付額(3/4)	交付額(1/4)
R2.	肉専用種	28	210	4,000.0	630,000	210,000	R2.	肉専用種	32	268	166,320.9	33,430,473	0
1月	交雑種	0	0	0.0	0	0	8月	交雑種	15	426	153,076.5	48,907,932	1,607,306
(精算払)	乳用種	4	57	4,000.0	171,000	57,000		乳用種	4	29	51,616.8	1,122,664	0
	計	32	267	—	801,000	267,000		計	51	723	—	83,461,069	1,607,306
2月	肉専用種	33	220	44,247.6	7,300,830	2,433,627	9月	肉専用種	30	241	127,854.0	23,109,602	0
	交雑種	14	406	24,121.8	7,345,076	2,448,368		交雑種	15	405	163,894.5	49,782,945	1,229,211
	乳用種	6	54	39,319.2	1,592,423	530,811		乳用種	5	30	39,206.7	882,148	9,802
	計	53	680	—	16,238,329	5,412,806		計	50	676	—	73,774,695	1,239,013
3月	肉専用種	27	229	176,935.5	30,388,657	10,129,566	10月	肉専用種	35	314	53,854.2	12,682,645	0
	交雑種	13	460	116,715.6	40,266,875	13,422,296		交雑種	13	484	131,468.4	47,723,023	361,538
	乳用種	4	88	54,562.5	3,601,124	1,200,375		乳用種	4	37	37,969.2	1,053,643	0
	計	44	777	—	74,256,656	24,752,237		計	52	835	—	61,459,311	361,538
4月	肉専用種	33	281	251,123.4	52,924,229	16,009,125	11月	肉専用種	0	0	0.0	0	0
※1	交雑種	14	554	148,130.1	61,548,048	10,146,914		交雑種	13	472	79,365.6	28,095,415	59,523
	乳用種	5	74	52,145.1	2,894,049	716,997		乳用種	3	32	38,144.7	915,471	0
	計	52	909	—	117,366,326	26,873,036		計	16	504	—	29,010,886	59,523
5月	肉専用種	30	229	228,377.7	39,223,845	0	12月	肉専用種	0	0	0.0	0	0
※2	交雑種	13	320	146,220.3	35,092,864	4,130,723		交雑種	14	617	29,124.9	13,477,536	14,563
	乳用種	4	47	46,925.1	1,654,107	316,745		乳用種	4	32	38,791.8	931,000	0
	計	47	596	—	75,970,816	4,447,468		計	18	649	—	14,408,536	14,563
6月	肉専用種	30	263	230,772.6	45,519,874	0	R3.	肉専用種	0	0	0.0	0	0
	交雑種	15	366	190,413.9	52,268,602	4,331,919	1月	交雑種	13	362	19,405.4	5,268,555	0
	乳用種	5	87	48,078.9	3,137,144	156,256	(概算払)	乳用種	5	47	39,958.7	1,408,540	9,990
	計	50	716	—	100,925,620	4,488,175		計	18	409	—	6,677,095	9,990
7月	肉専用種	35	360	151,822.8	40,992,130	0	合計	肉専用種	313	2,615	—	286,202,285	28,782,318
	交雑種	15	523	180,387.9	70,757,144	4,780,279		交雑種	167	5,395	—	460,534,015	42,532,640
	乳用種	4	63	39,031.2	1,844,221	97,578		乳用種	57	677	—	21,207,534	3,095,554
	計	54	946	—	113,593,495	4,877,857		計	537	8,687	—	767,943,834	74,410,512
※1 4月より負担金猶予措置が開始され、以降猶予牛が販売された場合、機構分(3/4)のみの交付となった。											交付金 総計 (4/4)	肉専用種	314,984,603
※2 5月より肉専用種の積立金が払底したため、以降猶予牛でない牛が販売された場合も機構分(3/4)のみの交付となった。												交雑種	503,066,655
												乳用種	24,303,088
												計	842,354,346